

開催案内

感染症対策啓発セミナー2014

忍び寄る新興感染症の脅威

— 感染症の知識と予防対策 —

日時：平成26年11月18日(火) 13:00-17:00

会場：学士会館 210号室 (東京・神田)

開催趣旨：国際化が進行する現代の世界においては、人的交流の活発化に伴い、病原体も国境を越えて広がる現況にあり、地球規模でその感染予防対策が強く求められる状況にあります。

わが国においても、SARS(サーズ)、鳥インフルエンザ、ノロなどのウイルス性感染症やO-157、ボツリヌス症、サルモネラ症などの細菌性感染症、また牛海綿状脳症(BSE:狂牛病)が知られています。

昨今のわが国では、ノロウイルスによる嘔吐下痢症、マダニ媒介の重症熱性血小板減少症候群、デング熱の出現、更には高齢者の感染性肺炎の多発やインフルエンザなど流行の動向が行政・関係機関より発表され、国際的感染症として中東重症急性呼吸器症候群(MARS)やエボラ出血熱などが話題となっており、国民の感染症に対する関心は日増しに高まっています。

この感染症対策セミナーの主旨は、感染症の予防と拡大防止の啓発にあり、各人が感染症についての知識と予防対策を熟知することによって、流行を防止できるとの観点から毎年開催しているものです。今回は、感染症の動向として最新の感染症に関するサーベイランス情報をベースとした感染症の総論と社会的弱者への感染症対策と流行により毎年共通して襲来するインフルエンザ感染症の対策を各論的に位置付け、各講師の先生方にお話を頂きます。

情報過多の時代、私達が感染症をどのように理解し、適切に対処するか、社会としてどのように予防対策を取るべきかを見極め、その対策を実践することが重要であります。このセミナーは昨年度に引き続き、感染症の流行を予防するための一助となることを願って開催するものであります。

尚、このセミナーは、当研究会の特別企業会員の社会還元である事業として支援をうけたもので、そ

のご厚意に謝意を表する次第であります。

平成26年11月 吉日

特定非営利活動法人

バイオメディカルサイエンス研究会

理事長 小松 俊彦

* バイオメディカルサイエンス研究会についてはホームページをご参照ください。

感染症対策啓発セミナー 2014

忍び寄る新興感染症の脅威
— 感染症の知識と予防対策 —

- ◆開催日時 : 平成 26 年11月18日(火) 13:00—17:00
- ◆会場 : 学士会館 210 号室 (東京・神田)
東京都千代田区神田錦町 3-28
TEL.03-3292-5936(会館フロント)

- ◆対象 : 団体・企業・マスコミ・医療従事者・施設従事者等
- ◆定員 : 150 名
- ◆参加費 : 無料
- ◆主催 : 特定非営利活動法人バイオメディカルサイエンス研究会
(Biomedical Science Association : 通称 : バムサ)
- ◆後援 : 厚生労働省(申請中)
- ◆協賛 : 公益財団法人 日本感染症医薬品協会
社団法人 東京都医師会(申請中)
株式会社 予防医学推進センター

プログラム

司会進行: 増田 剛太 (バムサ常任理事)

時間	内容	講師
13:00 - 13:10(10分)	開会挨拶	小松 俊彦 (バムサ理事長)
13:15 - 14:05(50分)	講座 1 (総論) 変貌する感染症	大石 和徳 先生 国立感染症研究所 感染症疫学センター センター長
14:10 - 15:00(50分)	講座 2 (各論) 社会的弱者への感染症対策	中西 好子 先生 東京都葛飾区保健所長
15:00 - 15:15(15分)	休憩	
15:15 - 16:05(50分)	講座 3 (各論) 臨床現場のインフルエンザ対策	金川 修造 先生 独立行政法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター・トラベルクリニック 医長
6:05 - 16:10(05分)	閉会の辞	瀬島 俊介 (バムサ副理事長)

■プログラムは都合により変更される場合があります。あらかじめご承知おきくださるようお願い申し上げます。